

令和4年度事業報告書

法人の名称:特定非営利活動法人たけのこ会

1 事業の成果

生活介護事業では、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの不安が残る中、様々な感染予防を実施しながらの活動となったが、所員、職員にはご理解ご協力をいただき、安心して作業所活動を行うことができた。

新型コロナウイルスが流行し、活動が制限され我慢が強いられる中、少しでも楽しい時間が過ごせるよう、レクリエーションなど所員が楽しめるプログラムを増やし、ストレスを溜め込まないようプログラムを工夫した。

また、個人個人に合わせたトレーニングをプログラムに組み込み、体力維持に取り組むことができた。

居宅介護事業では、昨年度同様にコロナ禍の影響により、移動支援サービスの縮小を余儀なくされたが、その分居宅介護サービスの充実に力を入れ、利用者の精神的、生活的、活性化を図ることができた。

身障者用グループホーム運営事業では、スタッフが4人の入居者の身体介護、家事援助を行ないコロナ禍によるストレス等の対応に努めた。感染対策に万全を期していたが、クラスターが発生し一部のスタッフでの隔離対応で収束することができた。

障害者相談支援事業では、計画相談業務が令和4年3月31日をもって閉鎖に伴い、残務整理事業を行なった。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

(1) 障害相談支援事業

- ① 事業の内容:残務整理事業を行なった
- ② 事業の日時:通年
- ③ 事業の場所:たけのこ会自立生活支援センター
- ④ 事業の従事者:2名
- ⑤ 事業の対象者:障害当事者ならびにその家族 計0名
- ⑥ 事業の支払額:892,829円

(2) 障害福祉サービス事業

ア)生活介護事業

- ① 事業の内容:通所障害者たちが作業や生活実習を通し、社会参加活動を行ない、それを7名の職員が支え、自立へのアプローチを取っている
- ② 事業の日時:通年
- ③ 事業の場所:たけのこ会協同作業所
- ④ 事業の従事者:7名(内・看護師1名、送迎運転手1名)
- ⑤ 事業の対象者:障害当事者 21名
- ⑥ 事業の支払額:28,386,383円

イ)身障用グループホーム運営事業

- ① 事業の内容:スタッフが4人の入居者の身辺介助や家事援助等を行ない、共同生活というかたちを通し、地域での自立生活を実践している。
- ② 事業の日時:通年
- ③ 事業の場所:たけのこ会アイエルホーム
- ④ 事業の従事者:2名
- ⑤ 事業の対象者:障害当事者 4名
- ⑥ 事業の支払額:16, 352, 131円

ウ)身体障害者居宅介護事業

- ① 事業の内容:一人暮らしの障害者をはじめ、高齢の親との同居生活を行なっている障害者に対し、必要な身辺介助や家事援助を行ない、在宅障害者の地域生活を支えている。
- ② 事業の日時:通年
- ③ 事業の場所:たけのこ会介助派遣センター 派遣利用者宅
- ④ 事業の従事者:36名
- ⑤ 事業の対象者:障害当事者34名
- ⑥ 事業の支払額:103, 838, 597円